



2019年

サクランボ病害虫防除暦

JA中野市営農センター

散布日	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)		収穫前 使用時期	使用回数 (以内)	散布量 (ℓ)	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
月 日	発芽前	①(水98ℓ) スプレーオイル アプロードフロアブル	2ℓ 100mℓ	発芽前 7日前	— 2回	300	(ハダニ類) カイガラムシ類	①胴枯病の枝は切り取り焼却する。剪定及び患部の削り取り後は、塗布剤を塗布する。 ②胴枯病の発生が心配される場合は、石灰硫黄合剤の 10 倍（発芽前）を単用散布する。 ③石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールに飛散しないようにする。
* コスカシバ発生園は、開花期までにフェニックスフロアブルの500倍（開花期まで、1 回・10aあたり 5～200ℓ）を樹幹部及び主枝に散布する。								
月 日	4月中下旬 開花直前	② 展着剤 オンリーワンフロアブル	10mℓ 50mℓ	前日	3回	350	灰星病、炭そ病 黒斑病 褐色せん孔	①ハマキムシ類が発生する場合は、フェニックスフロアブル 4,000 倍（前日、2 回）を加用する。 ②オンリーワンフロアブルに代えてベルコートフロアブル 2,000 倍（7 日前、3 回）でもよい。
月 日	5月上旬 落花直後 (前回から 14 日後)	③ 展着剤 サムコルフロアブル 10 ナリア WDG	10mℓ 40mℓ 50g	前日 前日	3回 3回	400	ケムシ類 ハマキムシ類 灰星病、炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病 幼果菌核病	①訪花昆虫保護のため、殺虫剤の散布は十分注意する。（訪花昆虫引き上げ後。早朝散布） ②ショウジョウバエ類（ケムシ・ハマキムシ類）が発生する場合は、バイスロイド EW4,000 倍（7 日前、2 回）を特別散布する。 ③ナリア WDG は、ぶどう・ピオーネ、洋なし・ルクチェ等に薬害が生じる恐れがあるので、飛散しないようにする。
月 日	5月中下旬 (前回から 14 日後)	④ オンリーワンフロアブル アーデントフロアブル	50mℓ 25mℓ	前日 前日	3回 3回	500	灰星病 炭そ病 オウトウショウジョウバエ	①今回から収穫終了後まで展着剤は使用しない。 ②灰星病(黒斑病)発生園は、ベルコートフロアブル 2,000 倍（7 日前、3 回）を加用する。
月 日	6月上旬 (前回から 14 日後)	⑤ フルーツセイバー ディアナ WDG (収穫前最終防除)	66mℓ 10g	前日 前日	3回 2回	500	灰星病 炭そ病 幼果菌核病 褐色せん孔病 オウトウショウジョウバエ ハマキムシ類	①カメムシ類が発生する場合は、アルバリン顆粒水 溶剤 2,000 倍（前日、2 回）を加用する。（果実汚染注意する。）
月 日	6月中下旬	【紅秀峰など 特別散布】 オーシャインフロアブル コルト顆粒水和剤	33mℓ 10g	前日 前日	5回 3回	500	灰星病 褐色せん孔病 幼果菌核病 オウトウショウジョウバエ	
月 日	7月上中旬 収穫終了 直後	⑥ 展着剤 コロマイト乳剤 トレノックスフロアブル スプラサイド水和剤	10mℓ 100mℓ 200mℓ 66g	7日前 21日前 7日前	1回 5回 3回	600	灰星病・炭そ病 幼果菌核病 褐色せん孔病 カイガラムシ類 ショウジョウバエ類 カメムシ類・ハダニ類 (ケムシ類)	①トレノックスフロアブルに代えて、キンセツ水和剤 80 の 1,000 倍（収穫後～落葉期、3 回）でもよい。キンセツ水和剤 80 は葉が軟弱な状態で薬害（葉のせん孔）が心配される場合、クレフノン 100 倍を加用する。
月 日	7月下旬 (前回から 14 日後)	⑦ 展着剤 ダニコングフロアブル オキシラン水和剤 サイアノックス水和剤	10mℓ 50mℓ 166g 100g	前日 収穫後～落葉期 14日前	1回 3回 2回	600	ハダニ類 せん孔病 ケムシ類 (ハマキムシ類)	
月 日	8月上旬 (前回から 14 日後)	⑧ 展着剤 カネマイトフロアブル トレノックスフロアブル サムコルフロアブル 10	10mℓ 100mℓ 200mℓ 40mℓ	7日前 21日前 前日	1回 5回 3回	600	灰星病・炭そ病 幼果菌核病 褐色せん孔病 ハダニ類 ケムシ類 ハマキムシ類 (アメリカシロヒトリ)	①8月中旬以降、ハダニ類の発生が散見される場合は、ダニゲッターフロアブルの 2,000 倍（前日、1 回）を特別散布する。 * ダニゲッターフロアブルは開花期の水稻に薬害を生じる恐れがあるので、飛散しないよう注意する
* 特別散布(8月下旬)： カイガラムシ類幼虫の発生園はアプロードフロアブル 1,000 倍（7日前、2 回）を特別散布する。								
月 日	9月上旬	⑨ ICボルドー66D ダイアジノン水和剤 34	2.5kg 100g	— 14日前	— 2回	600	褐色せん孔病 ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ ウメシロカイガラムシ	①ICボルドー66D に代えて 4-4 式ボルドー液でもよい。（展着剤加用）
月 日	9月下旬～	⑩ ICボルドー66D スミチオン乳剤	2.5kg 100mℓ	— 21日前	— 2回	600	褐色せん孔病 ハマキムシ類 (ケムシ類) (コスカシバ)	①樹体が弱い場合は、スミチオン乳剤に代えてスミチオン水和剤 40 の 800 倍（21 日前、2 回）を使用する。 ②コスカシバが発生する場合は、落葉後にラビキラー乳剤 200 倍（落葉後～発芽前、1 回）-（スミチオン乳剤なども回数に含め 2 回まで）-を樹幹部及び主枝に十分散布する。

当防除暦の複製・コピーの禁止